

私の会社人生

～楽しくもあり辛くもあり～

竹内 繁雄



昭和38年4月16日、私は日立製作所日立工場に入社しました。配属先は勤労部山手総務課でした。その後昭和41年に勤労第一課に異動しました。

日工専への合格数で全社一に

いろいろな仕事をしましたが、思い出は教育係で仕事をした時に、工場長から日工専への合格者を30名にするよう目標を与えられたことでした。「日立工場は全社で採用数が一番多く、合格者が少ないのは納得できない」と言うものでした。その当時、日立工場の合格者は十数名で他の工場に数では負けていました。また、日工専合格者数は各事業所の勤労関係者で競っており、中々大変な仕事でした。私は女房におにぎりを握らせ、夜には志学寮へ一週間通って約70人の受験生を激励しました。昭和48年、ついに30名の合格者を出すことに成功しました。これに対して私は勤労部長の「生産功労賞」をいただきました。

都市対抗野球大会の応援団

昭和52年当時、応援団はありませんでしたが、その人数が減る傾向にあって困っていました。そこで私は高卒の新入社員を応援団員にしようと考え上長に提案致しました。動機は「フレックシビリティ」とやるだけで愛社精神を高められると思ったのです。そうしたら「練習はキツイんだろ、そんなことを会社として仕事でやらせるのは認められない」と反対されました。その頃は、若者に長髪が流行っていた時代です。応援団は先

ずはこれをきれいに刈り上げて短髪にすることから始めなければなりません。私はそれならと思いい個人的に一人一人を説得して応援団員にしようと考えました。新入社員で、新入者教育担当者から言われれば断ることが難しいこともあったかも知れませんが、結果として36名が応募しました。当時の都市対抗野球大会は東京ドームではなく後樂園球場で行われていました。応援の練習は毎日昼休みに行なわれまして、「辛い」とか思う人もいたとは思いましたが誰も私には言って来ませんでした。この年の昭和52年に野球部は後樂園に出場しました。短髪で球場の応援団席に立った若者達のズラッと揃った姿にヤンヤの喝采が湧きました。そして、翌年から新人の教育の一貫として、新入社員がやる



昭和56年の野球応援団(最前列右端が筆者)

「春の祭典」を提案して実施

昭和50年8月から勤労第二課福利係に異動しました。私が新たにやっていた仕事は、文化祭を「春の祭典」に変えて部対抗のど自慢大会にしたことです。これも提案時、当時の課長に、日立工場創業以来やっている文化部

の祭典「文化祭」を止めるのはダメだと言われましたが、当時の日立会職域委員長の重機課の関谷課長に勤労第二課長を口説いていただいで成し遂げることが出来ました。この文化祭をなくすことに関しては、文化部ばかりではなく、定年になったOBからも「日立鉦山時代の創業以来やつて来た伝統の文化祭を止めるのか」とや、先輩が頭に来て「お前は馬鹿か！」等々かなりのお叱りをいただきましたが、あの小平会館を満席にできなかった「文化祭」です。でも、「春の祭典」は満席以上の従業員とご家族が集まって、会館の前にブルーシートを敷いて酒飲みを始める等、かなり好評でした。この「春の祭典」に対して、勤労部長による「生産功労賞」をいただきました。

定年退職後は

私も60才を迎え、最後の職場は東京の日立メデイカルコンピュータで定年になりました。定年後は趣味でやっていた作曲をプロの世界でやっています。CDは20枚以上出しています。残念にも今までヒット曲は一曲もありません。でも、日立労組本部の創立五十五周年記念の労働組合歌や同労組日立支部の創立五十周年記念の労働歌を作詞・作曲しました。そして当時文部科学省管轄の社会教育団体「修養団」の創立一〇〇周年記念の歌「今までもこれからは」を作詞・作曲して天皇・皇后両陛下の御

前で表彰されました。また、今はカラオケ教室を日立市で5教室、千葉県印旛郡酒々井町で1教室指導しています。また、カラオケ大会の審査員は、ハワイ・ホノルルで7回、沖縄の那覇市で5回、その他藤沢市や熱海市でもやりました。このように定年後は忙しく活動しています。

最後に

会社生活では事務系のたった一人の人間でも、会社(工場)を動かす仕事が出来ものだなあとしみじみと思つたものです。今は与えられた楽しい仕事をやって、世の中に少しは役に立ちたいと思っています。なお、茨城支部会員対象に「カラオケを楽しむ会」を開催しています。皆さんの参加をお待ちしています。

竹内繁雄氏 連絡先
〒316-0033 日立市中成沢町2-25-11
電話：0294-35-6462
メール：
hhhh310630113@net1.jway.ne.jp



氷川きよしさんと



八代亜紀さんと

リレー随筆(68)

母の介護と途中下車の旅 三澤 通宏



平成 15 年 9 月に 65 歳を迎え退職、何かよい趣味はないかとモタモタしているうちに 1 年余が過ぎた。平成 17 年 1 月、松江で一人暮らしをしていた母が、眼内出血で視力が低下し、一人で生活できなくなった。そこで、子供たち 4 人で分担して面倒をみることにした。私は暇があったので、月に 2 週間担当し、毎日 3 食作って食べさせた。でも、2 週間は非常に長いと感じた。平成 21 年 12 月まで 5 年間続いたが、母の老衰が進行し歩けなくなり一人では介護できなくなったので、特別養護老人ホームへ入れた。以後も、毎月母の様子見と実家の管理のため数日間滞在の松江通いを続けた。

日立と松江を単に往復するだけでは能がないので、途中下車して「お城巡り」をすることにした。これは、約 5 年半続いた。北は函館の五稜郭から、最西の長崎県福江島の石田城まであちこちのお城を訪れた。300 城を超え、主なところは見終わったので、「国宝建造物巡り」(125ヶ所)に移った。これは、約 1 年半で終わった。その後、平成 24 年 1 月から「一宮巡拝」を始めた。当時の Wikipedia に掲載されていた旧令制 68 国 105 社を巡拝することにした。途中下車では難しい対馬国などは除き平成 26 年 5 月で終了した。その後は、熊野古道など各地の名所を訪れた。

母は平成 27 年 6 月末に 103 歳で生涯を閉じた。これで松江通いと途中下車の旅は終わった。平成 17 年 1 月から 10 年半、全国各地へ旅行ができたのは、母の長寿の

お陰であった。

最も印象に残る訪問先は、但馬の竹田城跡である。竹田城跡は雲海が発生する朝がよいとネットにあったので、平成 18 年 5 月 30 日、福知山線和田山駅付近のビジネスホテルに宿泊し翌朝播但線初発 5:21 の気動車で竹田駅へ。竹田城跡へは竹田駅の北側から直登 800 メートルであるが、登山口に着くと注意看板があり「台風 23 号の被害のため竹田城跡への歩道は徒歩で登ることができません。竹田小学校ルートは徒歩で登山可」と。

これにはまいった！持参した地図には竹田小学校は載っていないので人に聞くしかない。だが早朝だ。民家が多い西の方へ歩いて行くと、開門したお寺が



雲海に浮かぶ竹田城跡(早朝撮影)

あった。門を入り住職に聞いたところ「送りましょう」との返事、これには驚いた。彼が言うには、今朝の雲海が発生状況がよいので行って見ようと思っていたと。そこで車に乗せてもらって城跡へ向かった。実に幸運だった。このような幸運は二度とないだろう。5 時 45 分、城跡に着いた。雲海に浮かぶ竹田城跡を心ゆくまで満喫した。

「お城巡り」「国宝建造物巡り」「一宮巡拝」は、私のホームページ(<http://msw316.jp.org/>)に掲載しているので、ご覧いただければ幸甚である。

同好会行事に参加して



「研修会」

丸山 勝也

2011 年から都合のつく限り参加させていただいてきました。毎回、感動するのは、研修会世話人の方々の緻密な計画です。何の目的で、何を堪能してもらうか、ということを事前に調査し実行されていることです。第 79 回研修会では日立アプライアンス(株)栃木事業所、とちぎ山車会館、山本有三ふるさと記念館および小平波平翁生家を見学、日立発祥の翁生家や現代の生産現場を堪能しました。印象に残ったのは山本有三ふるさと記念館で見た「人間 どれだけ苦しみに耐えることができるかによってはじめてその人の値うちがわかるのだ」(有三のこぼ集 米百俵より)にふれ、現役時代を思いださせてもらった気がした。

今後、出来る限り研修会に参加させていただき、自分を磨き、世話人の方々に感謝しながら生き生きとした人生を送って行こうと思っています。



「料理教室」

仁木 晴久

退職後の人との係りを保つ方法の一つとして料理教室へ参加しました。もちろん今後自身での料理の必要性や作る楽しみへの期待もありました。これまで料理をほとんどやってこなかったのが、基本的なこともほとんど知らず、毎日が貴重な体験になりました。何通りもある野菜の切り方や、魚のおろし方等はやってみると難し

いもので、繰り返しの実践が必要と感ずます。先生は我々初心者でも簡単に作れそうなレシピを作成してくれますが、この年齢になると勘違いや手順ミスが付きものです。それでも大きな失敗はなく、おいしい料理が完成します。食事をしながら皆で作った料理を評価したり、他グループを冷やかすことも楽しいものです。

私は未だ家庭での実践に至らず、妻からはなんのための教室なのと揶揄されていますが、今しばらくコミュニケーションの場として楽しみたいと思っています。



「旅行会」

五味 重則

列島に雪も舞う寒気が居座って桜の開花が遅れ 5 日先延ばしの三春旅行会。4 月 15 日は満開の滝桜に晴天温暖と天も味方のお花見日和。里山のカタクリ群生地、花言葉「初恋」の如く薄紫の花の絨毯が春風に萌えていました。お茶に漬物の山田カタクリ愛好会のおもてなしに方言を交えた四方山話にも花。ランチは名物の油揚げのほうろく焼きに素麺。蔭の臺、鯉の山椒漬もついた春の膳に舌鼓。城下町三春は町並みの周囲が神社仏閣で囲まれ各所の枝垂れ桜が町全体を美しく彩っていました。三春はマイカーで昭和時代に、社友会歴史探訪で 13 年前に、そして今回と 3 回目だが春は枝垂れ桜に「小さな城下町」の風情が心を和ませてくれます。一度は行きたいと思っていた場所、何回でも行きたい場所など旅行会の行事はいつも興味津々、この先の企画を待望中。元気な内にと人生の旅を重ねています。

同好会の行事ご案内 (8月～10月)

1. 第81回研修会【豊洲市場、築地場外、NHK】

東京の豊洲市場、築地場外市場、NHK放送博物館を見学します。皆様の参加をお待ちしています。なおご家族同伴での参加も歓迎します。

- ・開催日：9月3日(火)
- ・集合：大甕駅前(常陽銀行大みか支店前) 7:00
茨城交通日立南営業所(旧電鉄南営業所) 7:15
- ・帰着：大甕駅前 18:10頃の予定
- ・会費：7,500円予定(バス、昼食代、他)
- ・募集人員：先着40名
- ・申込締切：7月29日(月)
住所、氏名、電話番号を連絡下さい。
- ・申込先：奥村 清
Tel：090-1252-7396、Fax:0294-36-0308
E-mail：kiyoshi-okumura@net1.jway.ne.jp

2. 第78回歩こう会【那珂湊、湊八景を歩く】

徳川斉昭による水戸八景選定よりも以前に知られていた那珂湊、湊八景を歩きます。

- ・開催日：9月20日(金) 雨天10月4日(金)
- ・集合：湊線 那珂湊駅 午前10時
- ・コース：那珂湊駅発→館山の晩鐘(浄光寺)→峯山の晴嵐→関戸の夕照→山上門、反射炉跡→日和山の秋月(昼食)(湊公園内)→和田の帰帆(水戸八景の水門帰帆と同じ所)→富士坂の暮雪→八幡の夜雨(八幡宮)→那珂湊到着
(多少の上り坂、下り坂あり 8.1km)
- ・持参品：弁当、飲物、雨具等
- ・会費：200円(非会員500円)
- ・申込締切：9月13日(金)
- ・申込先：小野瀬 秀夫
Tel/Fax：029-282-4124
E-mail：h1941.0830.onose@tenor.ocn.ne.jp

3. 定例行事予定一覧(開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡いたします)

グループ名	連絡先	実施予定日(曜日)			場所	時間	備考
		8月	9月	10月			
野鳥・自然観察グループ	石川 皓 0294-53-7064 aishikajp@ybb.ne.jp	休				～	参加費：¥300/回 原則雨天中止
			30(月)		栗原	9:00～12:00	
				28(月)	赤羽緑地・久慈川河口	9:00～12:00	
囲碁の会	日立地区 真鳥岩男 0294-74-5285 sp8k8z59@lake.ocn.ne.jp	21(水)	11(水)	9(水)	大みか拠点	10:00～(大会9:30～)	参加費：¥100/回 大会：¥1000
		28(水)	大会 25(水)	23(水)			
		30(金)	27(金)	25(金)			
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	15(木)	19(木)	17(木)	大島コミュニティセンター	9:00～	参加費：¥200/回 大会：¥700
料理教室	澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	26(月)	30(月)	28(月)	らぼーるひたち	9:45～	参加費：¥1500/回
卓球クラブ	村上勝雄 0294-24-2430 mkattyan@herb.ocn.ne.jp	7, 21, 28(水)	4, 11, 18(水)	2, 9, 16(水)	会瀬体育館	9:00～12:00	参加費, 会場費等 まとめ：¥4500/年
デジカメクラブ	溝口忠憲 029-219-6576 mizogut@beach.ocn.ne.jp	5(月)	2(月)	7(月)	大みか拠点	10:00～15:00	参加費：¥1000/回 昼食代含む
写真五七五	細江 徹 0294-42-9126 tohr92@road.ocn.ne.jp	2(金)	6(金)	4(金)	大みか拠点	9:00～12:00	参加費：¥300/回 昼食別途
パソコングループ	HPの会 中村 進 0294-52-5525 ssm2332@knh.biglobe.ne.jp	6(火)	9(月)	1(火)	大みか拠点	10:00～15:00	参加費：¥200/回 昼食別途
	基礎講座 安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	20(火)	10(火)	8(火)	大みか拠点	10:00～15:00	参加費：¥1000/回 昼食代含む
	勝田地区 佐々木六漏 029-275-2567 sasak6318@nifty.com	27(火)	23(月)	22(火)	ひたちなか市ワークプラザ	13:15～16:00	参加費：¥700/回
	Scratch講座 安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	29(木)	26(木)	24(木)	大みか拠点	10:00～15:00	参加費：¥1000/回 昼食代含む

注) 旅行会(連絡先：溝口忠憲)は、開催が不定期なので、茨ネットを通じて開催をご案内しています。

訃報 真に残念ですが、苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。

佐々木義雄 平成31年 2月 9日 満95歳
萩野 昌夫 平成31年 2月 28日 満77歳
小池 典夫 平成31年 3月 9日 満72歳
渡辺 寔 平成31年 3月 29日 満85歳
堀江 龍郎 平成31年 4月 11日 満82歳
大和田 勤 令和01年 6月 6日 満97歳

編集後記 竹内さん、定年後大変身してプロの世界でシンガーソングライターとして活躍、凄いですね。地域住民対象のカラオケ教室、特別に茨城支部会員対象に「カラオケを楽しむ会」感謝。7月は皆で東京ドームに日立野球部応援に行こう。三澤さん、お母様の介護をしっかりとやられましたね。その間十年半で全国のお城巡り、国宝建造物巡り、一宮巡拝など、徹底していますね。いつかまた会員投稿でお城巡りのエピソード、楽しみにしています。

谷口 正俊